

安芸高田市の歴史をたどる

中世安芸高田の武士団

宍戸氏 その二 武芸を極めた宍戸家俊

八千代町下根にある亀山神社には、珍しい奉納額（写真）が残されています。天保10年（1839年）、中村小兵衛勝重なる人物が奉納した木刀2本を貼り付けた額で、この中央には「貫心流剣術」と大きく書かれています。江戸時代には、剣術や槍術、弓術、砲術など武道を学ぶ者が、その上達や試合での勝利の記念またはそのお礼としてこうした額がよく奉納されるようになりました。八千代町佐々井の厳島神社にも同様の額が残されています。この貫心流剣術は江戸時代後期に阿波出身の剣士、細宗閑が広島藩内で広めたもので、八千代町の奉納者もその弟子であったと思われる。

さてこの貫心流の元祖こそ、安芸宍戸氏の中興の祖ともいべき第6代目の五龍城主、宍戸元家の三男、家俊（司箭）なのです。家俊ははじめ甲田町深瀬の祝屋城主でしたが京都の愛宕山へ出て修行し、ついには飛行の自由を得たとも伝えられています。家俊はその武術を伊予の河野大蔵に伝授しますがその後についてはよくわかりません。家俊の極めた司箭流の武術は長い年月を経て、江戸時代には再びこのゆかりの地安芸高田にも広まったのです。宍戸氏の本拠城・五龍城（甲田町上甲立）には家俊を祀る宍戸司箭神社が建てられ、正月には、各地の武士、剣士が多く参詣し、武芸の上達を祈願し、奉納試合も行われたようです。



▲亀山神社木刀貼付け額
当初の2本の木刀は失われ、後に補われたものといわれています。門外不出の額です。



▲宍戸司箭神社
五龍城のある尾根先端に位置し、登り口には文化3年(1806年)奉納の石鳥居があります。

先日、車を変えました。これまで乗ってきた車は就職した年に買ったもの。働きはじめたばかりでとにかく車が欲しく、代金は全額借りての購入でした。5年間かかっていた返済。20代前半は車のために働いたといっても違いはありません。▼その車を変えらることにした理由はいくつかあります。弟が車を変えらることを決め、乗っていた車を売らうと思っていました。人に譲ってしまうのなら私が買おう。次の理由が家族が増えたこと。弟の車は7人乗りでした。大きい車のほうが便利だ。そして最大の理由は維持費です。私の車はともがソリンをたくさん飲む、燃費の悪い車でした。最近のガソリンの値上がりは我が家の家計に大きく響いた。▼10年乗ってきたことも愛着はありました。しかし前のものにこだわりすぎて、新しい1歩が踏み出せないのもどんなものか。次の持ち主にかわいがってもらおうと決めました。別れの朝、車の前で写真を撮りました。10年後、子どもと一緒にその写真を見たいと思います。

人 輝く・安芸高田

あきたかた

A K I T A K A T A

3

MAR 2005 No.13

発行編集 安芸高田市 企画課 〒731-0592 広島県安芸高田市吉田町吉田791番地 Tel.(0826)42-5612 Fax.(0826)42-4376 http://www.akitakata.jp/

合併から一年
人と人、心と心が
パレーと握手で
つながった

291名が参加した
安芸高田市小中学校
PTAソフトパレーボール
交流会



合併 から 一年。

ソフトバレーボール交流会参加者に聞きました。

あなたが「合併したんだ」と感じたのはどんな時？

合併から1年。
2つの行事が開催された。
安芸高田市小中学校
PTAソフトバレーボール交流会。
安芸高田市民フォーラム。
どちらも合併して行う初めての試み。
合併したからできたこと。
合併から1年、
いろんな合併を探してみた。

安芸高田市小中学校PTAソフトバレーボール交流会
市内小中学校から44チーム291名が参加した。大人と子どもと一緒にスポーツを通して交流するのは初めての取り組み。4人制で、大人2人子どもが2人必ず入らないといけない。順位を競うより、交流を深めることが目的。市PTA連合会が主催した。



今日このバレー交流会をきっかけに、生まれる交流はあると思います。また交流は回数を重ねるたびに増えていくと思います。人と人のつながりも深まると思います。

もともと高宮は行事が多かったのかもしれませんが、旧町のときの行事と安芸高田市の行事が合わせて行われているって感じですね。楽しいこともあるけれど、大変なこともある。良くも悪くも行事が増えました。



合併前まで隣の施設だったB & Gの体育館とかの料金、町外料金で利用していたのが、合併したら市内料金で使うことができるようになりました。利用料金が安くなりました。とてもうれしいです。

安芸高田の花火大会へ行きました。吉田の一心祭りのころにも行っていましたが、何だか行きやすくなった気がしました。よその花火じゃなくて、自分たちの花火になった気がしました。



はじめての市規模のバレー大会。とても新鮮でした。特に他の地域の友達とこの会場で会うと、合併したんだと、同じ市になったんだと感ぜました。今日この大会に参加してより強く感ぜました。



旧町の独自のサービスがなくなるのは寂しく思うけど、みんなで楽しめる機会が増えるのは良かったかなと思います。積極的に行事に参加して、新しい発見をしていこうと思っています。



今日のこの行事に違和感なく参加できたと思います。これまではよそに来ている気がしていたのかも。自分たちのまちの意識が生まれつつあるのかな...



合併して中学校の卒業式の回数が1からになりました。1つ上の先輩たちが第1期卒業生だから、自分たちは第2期卒業生になります。回数が少ないのってなんだかうれしいです。



まだ町のこの印象が強いか。今日のバレー大会のように、市の規模の大会がいろいろと繰り返して行われ、参加していくことで、実感が深まっていくのではないのでしょうか。



合併前は、サンフレッチェは吉田のもの。湧永は甲田のものみたいな雰囲気。けれど町のわくが取っ払われると、わりといろいろなものが身近に感じられるようになりました。



バレー大会、楽しんでます。1年に1回だけでなく何回もあったらうれしいですね。回数が増えると顔を合わす回数も増えて、知り合いになれやすいのではないかなと思います。



一番変わったのが、住所を書く時です。少しややこしくなったかな。市の名前を覚える時、安芸高田市(あきたかたし)を、安芸(あけい)と覚えちゃった。読み方を間違えているわけではありませぬよ(笑)。自分の中の覚え方として、芸(ぎ)を(げい)と覚えちゃった。

安芸高田 市民フォーラム (第1部)

12の地域振興組織と3つのまちづくり団体が、合併して一年たったこれまでの活動報告や新市への期待を発表しました。



郷野地区コミュニティ推進協議会 広瀬 正三さんと郷野小学校5年生の皆さん

環境について学ぶ水辺の楽校で地域と小学校との学習を行う。この公園整備には小学生の意見もたくさん盛り込まれている。自分たちが生まれ育った郷野地域、これから自分たちには何ができるかをしっかりと考えていきたいと思っている。

生桑振興会
山下 和子さん

山登りグループに参加している。美土里だけに限らず、高宮、吉田、甲田の人も参加して交流の輪が広がっている。一人暮らしの私は、このグループのみんなに支えられて楽しく暮らしている。また人間は足からだめになると聞いたことがあり、訓練の気持ちもこめ山に向かっている。



上根・向山地域振興会
田中 忠夫さん

地域住民が地域のことを知らないと、地域振興は図れないだろうとマップづくりに取り組んでいる。可部カラスの会に援助を受けながら、自分たちで実際に歩いて宝探しを行った。この地域に住んでいても分からないことが多いということが発見だった。



小原地域振興会
住吉 二郎さん

小原地域の9つの単位振興会の連合体で形成している。全体の行事として小原ふれあい感謝祭と名づけて、夏は夏祭りや花火大会、秋は芸能発表と敬老会を開催している。また地域で子どもたちを守ろうと、地域全体のパトロールを行う。振興会としても子どもは大切な財産だととらえている。



**志部府地区
コミュニティづくり親交会**
武部 康利さん

1年に3回、森の家族の一日という行事を開催している。季節に応じた田舎の楽しみを体験してもらおう。小さな地域で高齢化が進む中、公園の管理は大変な作業だが、それでも交流ができることが楽しみで苦しいことも忘れさせてくれている。



北振興会
櫻尾 勝さん

炭焼きがまを作ろうという話になった。7人くらいと小型のショベルカーで作業を進めた。2つのかまが完成した。このかまの作り方、炭の焼き方を受け継いでいくことが大きな目的だ。現在の山は、手入れも行われていない。何とか利用できないだろうか。木炭の使い方の知恵もほっていききたい。



下根振興会
末田 博信さん

児玉市長と元プロ野球の監督の大沢さんを招いて対談を行った。地域住民の心の豊かさを高める取り組みになればと企画した。反省としては、準備の期間が少なく、周知が足りなかった。これからも市内の人脈を活用していけば、もっとおもしろい会が開催できるのではないかと感じている。



**福祉分野のまちづくり団体
ひとは作業所**
寺尾 文尚さん

障害のある人と一緒にみんなが楽しく暮らせるための情報発信施設を作りたい、これがひとは作業所を立ち上げたきっかけ。だれにも出番があり、障害のある人も理解されて安心して暮らせる。高齢者も長生きして良かったと思える地域。障害者のためだけでなく、地域のためにある施設になっていけばと思う。



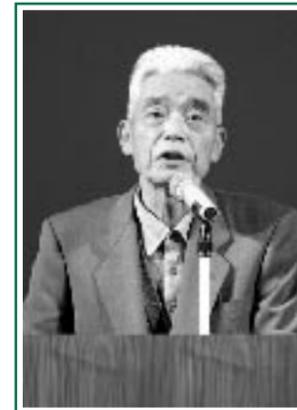
保垣地区振興会
先川 和幸さん

保垣地区内で照山を拠点に活動している。地域をこよなく愛し、交流によって元気になろうという志が同じものが集まり、活動を行っている。先輩たちから炭焼きや間伐など技術の伝承。市外から小学生を受け入れての山間体験学習では会員が講師となり、山の役割、間伐の大切さなどを伝えている。



甲立地域振興会
富永 主計さん

住民アンケートを行った。今後はアンケートを元に住民ニーズをつかみ、これからの地域づくりにつなげて行きたい。各振興会は立ち上がった年や地域の実情など様々。全部を統一的に進めても、無理がくる振興会も出るだろう。行政には地域の状況をふまえて長い目で見ていただきたいと願う。



川根振興協議会
辻駒 健二さん

だれもが安心して毎日を過ごせる地域を目指している。問題の解決には地域みんなで取り組む。地域でできないことを行政が担う。人は日々の生活でどうしても助けを必要とする場面がある。そんな時、頼れる振興会をめざして地域づくりを進めている。



**スポーツ分野のまちづくり団体
サンフレッチェ広島**
眞藤 邦彦さん

練習の拠点としてまたユースチームの本拠地としてお世話になっている。昨年のユースの活躍は、この10年間で実を結んできた結果だと思う。ユースも地域の一員として、協力できる取り組みを進めていきたい。夢と感動を共有し、わしらのサンフレッチェと言ってもらえるような活動をしていきたい。



**文化分野のまちづくり団体
美土里神楽連合会**
久保 良雄さん

本格的に活動しはじめたのは神楽門前湯治村ができるとき。毎週末に公演をという依頼があった。議論を重ね、湯治村との協力体制を整えていく。またこの議論が連合会の絆を深めた。昨年の秋、広島で神楽のイベントが開催された。このようなイベントを安芸高田市で開催できたらと思っている。



**丹比地区
コミュニティ推進委員会**
鳥井 康義さん

於手保地区は獣害対策を行って地域がまとまった。農業法人も全体で取り組む。獣の被害がなくなったので、何でも作れる。地域の農地は地域で守る。若い者は勤めがある。年寄りも出て働く。元気に外で働くことが元気の源だと思う。



向井原地域振興会
岡崎 耕二さん

皆さんにもぜひおすすめしたい事業が、地域でのごみのリサイクル。リサイクルセンターを手づくりで建設した。45日間で地域から出たごみは約3,200kg。処理費用を概算してみると、約26,000円必要だった。これを業者へ引き取ってもらうことで、逆に約16,000円の補助金が受け取れた。



合併から一年。

安芸高田市民フォーラム(第2部)

第2部は鼎談^{ていだん}。市長と2人の専門家が、これからのまちづくりを語り合いました。進行役は小田切氏。「一番年齢が若いため元気があるだろう」といった理由で、進行役を任せられたのだと思います。(笑)そんな言葉から鼎談は始まっていきました。

鼎談…3人で話をする事。
2人なら対談、3人で鼎談。



小田切 ■12の地域振興組織と3つのまちづくり団体から活動発表がありました。すべて聞いた感想をまず聞かせてください。

組織で展開しているこうと決めたことは間違っていないかと思えます。

小川 ■それぞれの話の中にキーワードと物語性があり、とても勉強になりました。よそごとではなく、主体的な話ばかりで驚いています。まちづくりということとしては人ごとではなく、自分たちのこととして自分たちがやらないといけないんだな、そういう考え方の人が安芸高田には増えているなど改めて感じました。

小田切 ■私の感想は、来て良かったと感じました。常々、地域づくりに3つのポイントがあると思っっています。1つは総合性。地域づくりはいろいろなことをやる役目がある。2つめは革新性。新しいことを少しでもやっていくという活動。従来とは違う一歩踏み出した活動。そして3つめは力が入っていないこと。少し前の地域づくりは苦勞して、涙を流して取り組んできたというものが多かったのですが、今日の報告はいつもやっていること。楽しく、明日に向かってという報告が多かったです。皆さんの報告はどれも自分が思っていた

市長 ■合併からほぼ1年、すばらしい地域活動が展開されているなど感じました。合併協議の時、振興会をどうするかと話し合いました。本物の住民自治をめざし、現在の安芸高田独自の地域振興

この地にならずと住み続けようと思うと、続けるための力量が必要になってきます。ある問題が生じた時、個人で解決できるのか、また団体では解決できるのか、なるべく身近に解決させていくことが求められており、その役割を担っていくのが振興

会なのだと思います。

小田切 ■それでは児玉市長に振興会を中心にするええまちづくりを考えた原点を聞いてみたいと思います。

市長 ■まちづくりはどれだけ住民力を活用できるか、するにかにかかっていると思っていました。

高宮町長になった20数年前、高宮町の状況はとにかく「物を作れ」の行政でした。そして振興会も、「行政に言えば何とかなる」と考えられている人が多かった。そのころから比べると、意識が変わってきたなと感じます。住民ができることはやる。自分たちだけでできないことも、行政と力を合わせてやる。

組織が立ち上がった年数は関係ありません。リーダーの皆さま



おだぎり とくみ 小田切 徳美 さん

東京大学大学院助教授。安芸高田市地域振興アドバイザー。4回開催された「まちづくり委員会」準備委員会にも3回出席している。

んの「自分たちで」という意識が大きく変わったと思います。

小田切 ■小川さん、このリーダーの意識の変化する必然性があったのでしょうか。

小川 ■このリーダーの「自分たちで」という意識の持ち方は、安芸高田の皆さんは全国的に見ても先を進んでいると思います。先進

地があり、がんばってきた組織同士が刺激をし合い、変わってきたのだらうなと感じます。また、全国各地で起こっている現象です。小田切 ■合わせてもう一つ、なぜ、全国各地で住民自治が必要だと

言われているのでしょうか。小川 ■自治体に財力がなくなつたのです。自分たちの税金を使っ

て物は作られていました。しかし、それだけではお金が足りず、借金をして作っていたのです。その代までわたって返していくことになりました。それでは後々に負担が大きくなってしまふ。

それでは、お金がないならどうしよう。知恵なら出せる。体を動かすことはできる。人脈を大切にしようとか、だれでも登場できるようにしようとか、信頼関係があれば、お金がなくてもものごとが動くみんな気付きはじめたのではないかと思っています。



おがわ たけお 小川 全夫 さん

九州大学大学院助教授。20年くらい前から高田郡の住民自治とつながりがある。合併記念式典の記念講演をお願いした。

合併から一年。

小田切 ■ 児玉市長に質問します。
このような時代の中で、振興会へ期待することは何でしょう。

市長 ■ 大きな自治体になつてどう自治を残すかと考えた時に、出た答えが地域振興会でした。上から作った組織ではなく、下から立ち上がる組織が必要だと、これが狙いでした。

小田切 ■ そんな中、より明確に住民と行政の協働でまちづくりを進めていこうと、「まちづくり委員会」設置に向けて準備を進められていきます。どういった会にしようかと、昨年の9月から4回の会議を重ねてきました。時間をかけて全部、振興会のリーダーたちによって作られているのです。このことに小川さんはどうお感じでしょう。

小川 ■ まちづくりへの住民参加というのは、いろいろな形、関わり
の深さというのがあると思いますが、後へ続く過程が大切ですが、「まちづくり委員会」を立ち上げたこと、決まりを作ったこと、自分たちで作ったとなると責任が生まれます。準備会に参加して

それと地域のことを意外に知っていないという前提で入っていくことが良いのかもしれない。知らないことを知ると次のステップへつながる第一歩になる。そして目標を定めて、手ごたえのある活動をつなげていくことが振興会の活動では大切なのだと思います。

小田切 ■ 集落点検やワークショップをもう少し詳しく教えてもらいたいです。

小川 ■ 車社会になり、寄り道やわき見ができなくなりました。地域内に気付かないことがたくさんあると思います。自らの足で歩いて見ることが必要です。安全面、衛生面とか文化面とテーマを定めて点検してみるのがよいかもしれない。

例えば特産品を作りたいと話をする時も、会議室で話をするのではなく、庭先や軒作田など現場で話すのも手法かもしれません。思わぬところに話がふくらみ、新しい特産が誕生するかもしれません。また一人ではなく、いろいろな人と話をしてみると幅が広がると思います。

小田切 ■ 「よそ事じゃない」「みんなに出番がある」「地域内を足で

いる皆さんが、自分たちのこととして作業をしているところが素晴らしいと思います。

約し、課題を整理して、そして行政に届けるべき声だけを代表が届けるという安芸高田方式の委員会を作る必要があったのです。そのためには、実際に行政へ意見を届ける役割を受けるだろう

「よそ事じゃない」「みんなに出番がある」「地域内を足で歩き現場で話をする」「これがキーワード



安芸高田市民フォーラム
(第2部)

これからの課題は行政と振興会との役割分担を具体的に「はっきりさせること」。

歩き現場で話をする「こんなキーワードが出てきました。それでは市としてはどういった役割を考えていますか。

市長 ■ 振興会の活動で一番の問題はそれが事務局をやるかということでしょう。住民の皆さんも日々の仕事と振興会の仕事があります。市役所職員も同じです。職員には事務局の仕事の話が届いたら喜んで受けるように伝えようと思います。それだけ地

人の協議が必要だったのです。
小田切 ■ まちづくり委員会には基本条例は定められますか。

市長 ■ 立派な条例ができて、内容が伴わないと意味がありません。安芸高田方式は、内容が先行して条例が後からついてくるようなものになればと考えています。やはり、目標とするものを作ることは大切でしょう。

小田切 ■ 振興会の活動の評価を改めて聞いてみたいと思います。
小川 ■ 良い点は、よそ事ではなく自分たちの共通の課題に目覚めて、関われる形で関わっていくところ。地域で生まれているところ。地域によってさまざまな課題があり、その解決に向けて自分たちで取り組む。地域の主体性があるのが安芸高田方式のメリットだと思います。

小田切 ■ よそごとでない組織にするために組織内部はどういった形が良いと思われませんか。
小川 ■ みんなが出番のあるまちづくりというのがキーワードになると思います。子どもの出番、高齢者の出番、中高校生の出番、その人たちの言葉でまちづくりを語るといういろいろな課題が見えて来るのではないのでしょうか。

事を行うとき、楽しんでもらいたいと思います。
小川 ■ どういう目安で自分たちの生活を図るか、夢の目安として考えてみてもらいたいと思います。一人で暮らしていけるかどうか図ってみる。すると夢の地域というのが見えてくるのではないのでしょうか。夢計画を作ってみる。そして実現のために自分は何ができるか考えてみていただいたらいかがなと思います。

小田切 ■ 最後に私の感想を話します。まずは到達点を定め、よそごとでないまちづくりが必要です。取り組みは各地域で一步一步始まりました。また課題が段階ごとにあります。段階を解決に向けて活動されることを望みます。続いて、これからの検討すべき課題は、行政との連携です。実際に具体的な役割分担をはっきりとさせることが大切でしょう。そして最後に、フォーラムで各組織が発表することに意義があります。各団体が定めた到達点とその近づき具合を発表し合う。このフォーラムをずっと続けていっていただきたいと思っています。

小田切 ■ 最後に今日、このフォーラムに参加しての感想を一言ずつお願いします。
市長 ■ どの振興会の発表も本当に素晴らしい。設立した年など感じませんでした。きつと他の団体の取り組みを聞き、やってみたいと言う話になったのではないかと思います。皆さんには、行

みんなは、道の駅を知っていますか。駅といえば電車の駅をイメージしていたと思いますが、ふつうの道路にも休む所があってもいいのではと、言うことから、道路の駅「道の駅」ができました。

道の駅は、国土交通省というところで認められていないと登録できないことになっていました。道の駅として認めてもらうためには、休む所があること、いろいろな情報を知ることができること、食事ができたり買い物ができたりする便利で元気がでるような場所をつくるのが条件になっています。

広島県で13番目の道の駅

道の駅は、平成5年に最初の登録が行われてから現在まで、全国に785の駅ができています。安芸高田市に昨年オープンした道の駅『北の関宿・安芸高田』は、全国785ある道の駅の内、広島県に13ある13番目の道の駅として認められています。

道の駅は、道路を利用する人や地域の人が利用しやすいよう、いろいろな工夫がされています。道の駅の案内看板もその一つです。全国のどの場所でも道の駅がわかるように、統一のシンボルマークがつくられています。木と家を使って、緑あふ



道の駅「北の関宿 安芸高田」には、「北のひもの市場」「ながいきラーメン食堂」などの食堂とおみやげ、路線のバスセンター、コンビニエンスストア、トイレが整備されています。

子ども広報 あきたかたっこ

第8話 道の駅

子ども広報あきたかたっこは、市内の子どもたちに向けたコーナーです。



「ながいきラーメン食堂」の「うこん」を練りこんだ自家製めんを使っている「ながいきラーメン」がこのたび3万食を突破しました。(関連 15 ページ)

れる安らぎの空間をイメージし、その形が「道」という字の「しんにょう」を表したものとなっているそうです。また、看板の中には、利用できるサービスの内容がわかりやすく示してあります。その他、いつでもだれでも利用できるように、安心してゆっくり休んでもらう工夫や、便利に使えるトイレをつくってあります。

その土地のことがよく分かる場所

道の駅は、みんなが自由に使ってもらい、道路を利用する人も地域の人も、そこに立ちよることによって元気になるための駅です。みんなが自由に使えると言うことは、みんながマナーを守って使うことが大切です。

みんなも、旅行やドライブに連れて行ってもらうことがあったら、道の駅で休んでみてくださ。おいしい食べ物や有名な所など、その土地のことがよくわかると思っています。

ようこそ先輩

— 甲立小学校 —

湧永製薬ハンドボール部キャプテン 小藪憲次選手がやってきた

「じゃ、授業をはじめます。」授業は小藪選手の笑顔ではじまりました。甲立小学校の6年生は、1学期からいろいろな伝記を読んだり、先輩から話を聞いたりして、自分の生き方を考える授業を行っています。今回の授業では、いつもハンドボールを教えてもらっている湧永製薬ハンドボール部キャプテンの小藪憲次選手を先輩としてまねきました。

「年末の試合をテレビで応援してくれた人？」小藪選手は生徒たちに質問しました。何人かの児童が手を上げます。授業の最初に日本一になった年末の試合のビデオを子どもたちと一緒に見ました。試合の後半、相手チームにリードを許している中、湧永製薬チームは人数が少なくなるという不利な状況でした。しかし、そこから試合終了間際に同点に追いつき、延長戦で逆転。見事な優勝でした。「負けるかと思った人？ぼくも自分が退場した時は、負けるかとも思いました。しかし人数が少なくなっても、チームみんなの目が死んでいなかった。気持ちを切り替えました。まだ勝てる。勝つんだ。そんな強い気持ちがありました。試合は終わるまで分からない。みんながあきらめたら負けていたと思います。」試合後のテレビインタビューで何を言おうかと考えていたようですが、あまりにうれし勝利だったため、すっかり頭の中は真っ白になっていたそうです。

授業のあとにサインをもらった



小藪選手と甲立小学校6年生のみんな

出合いを大切に

話は、小藪選手のこれまでの生い立ちへと移り、中学校、高等学校、大学、社会人での出合いと学んだことと話は展開していきます。

「中学校の時、ハンドボールを基礎から厳しく教えてくれた監督。勉強が苦手だった自分を、希望する高校受験へ向けて一から勉強を教えてくれた担任の先生。」

高校の時、ハンドボールのおもしろさを教えてもらった監督。

大学の時の先輩や多くの方との出合い。練習に耐えられずやめたくなった時、怪我でベンチを暖めた時などつらいことも多かった。しかし、あきらめずにやってこれたのも、いろいろな方の支えや教えがあった事。いろいろな出合いがなかったら今の自分はなかったと思います。」今日この授業を引き受けたのも、出合いの素晴らしさを伝えたかった。そして、みんなと出合えることが楽しみだったと、この授業へ訪れた思いを話しました。

「人生の長いものさしで見るとまだ最初。いろいろな出合いを大切に、一人で生きていこうと思わずに、だれかに支えられているというのを忘れないでね。一番の心の支えは親。一番身近な出合いです。自分があるのは家族があるから。家族を大事に。感謝の気持ちを大切に。」とメッセージを贈りました。子どもたち一人ひとりの目を見つめながら、時にはハンドを教えている児童へ話を振りつつ、明快に楽しく進められていった小藪選手の授業は終わりました。

子ども広報 あきたかたっこ



試食会では、野菜たっぷりのフランス風ポトフは、大きめのジャガイモが、口の中でぽっくりとした食感があり、体中が温まる思いでした。季節季節の野菜を何種もとり合わせたコーンサラダ。思わずぱくつきたくなるきな粉パンと、懐かしいびん牛乳。真紅な「くこの実」が味覚をそそった杏仁豆腐のデザート、このようなメニューでした。

輝く

2月4日(金)美土里生涯学習センター まなびで立春式が開催された。大人になる第一歩をみんなで激励するとともに、大人としての自覚や自立を促すことが目的にされている。今年で29回目の開催となった。昔の元服の年齢とされていた美土里中学校の2年生が対象。この立春式の中で生徒32名を代表して中尾和さんが決意表明をした。



立春式での決意表明

元氣・勇気を与えられるような介護士になりたい

地域の皆様、今日は私たち32名のためにこのような式を開いていただき、ありがとうございます。

私たちはこれから夢という大きな希望に向かって歩んでいきます。その中で必ず辛いこと、苦しいことがたくさんあると思います。だけど、そんな時、だれかが手をかしてくれるのを待っていたのでは何も解決しないと思います。人は、一人では生きていけません。だから、時には人に頼ることも大切なことかもしれません。できれば自分の力で立ち、一度しかない人生を自分なりに精一杯にそして自分に素直になって歩んでいけたらと思います。

私の将来の夢は介護士の仕事に就くことです。私が介護士になるうと思っただけは3つあります。1つは、あるテレビ番組を見ていたときです。介護士の方とおじいさんとおばあさんが楽しそうに話をしていたり、昔の遊びをしていたりしているのを見て、私もいろいろな方と触れあってみたいと思っただけです。2つ目は、数多く

の人たちの支えになっていきたいと思っただけのことです。そして最後に3つ目は、おじいさんおばあさんがいなくなったら、今の私たちがいけないということに気付いたことです。人は皆大切な存在です。そんなかけがえのない命をくださったおじいさんおばあさんに私は感謝し、大切にし、もっと触れあっていたらと思います。

でたくさんの方に元氣・勇気を与えられるような介護士になりたいです。

みなさん、これからも頑張っていく私たちの姿をずっと見守っていてください。私たちは社会に出た時、美土里町で育ってきたことを誇りに思えるよう、1日1日を大切にし何事も一生懸命頑張っていきたいと思っています。

平成17年2月4日

美土里中学校2年生 中尾 和



のどか
中尾 和 さん

この決意表明は立候補によるもの。原案は1日で考え、先生と相談しつつ3日間くらいで完成させた。当日は暗記して発表した。とても緊張し、ちょっと失敗もしたが言いたいことはすべて言えた。

人

心を育む食の豊かさを求めて

一通の手紙が届きました。八千代町の田村弘子さんからの手紙でした。内容は八千代給食センターの試食会へ参加した時の感想でした。毎年、試食会に参加しているそうです。

「インスタント食品やレトルト食品が、いつでもどこでも手軽に入る便利な現代です。そのような時代であっても、八千代の給食センターはすべて手づくり。職員の皆さんができるだけ、手づくりで」と手間ひまかけて愛情が注がれている姿勢に、子どもたちは幸せだなあと感じました。

愛情がいつぱいあった料理を感謝して食べる大切さを伝えたい

「お金をいせば何でも手に入る時代です。給食も給食費を支払っているから、ただ、お金を払っているから当たり前前に食べられているのではなく、感謝して



ひろこ
田村 弘子 さん

幼稚園や八千代大学、地域や学校の職員との試食会。児童のリクエスト給食・子どもたちによるメニュー作り、卒業記念パイキングや中学生の職場体験など、給食センターの幅広い取り組みには、本当に興味されていた。

食べることの大切さを知ってもらいたいと思うのです。一食の給食にも食材を作る人、献立を立てる人、調理する人、その他にも大勢の人の仕事があつてこそできています。子どもたちにもそのことを感じてもらいたいです。」

私たちの目が生産者に向けられることを願い、心を込めて作られた料理を、感謝して食べる。食は心を育てるのには本当に大切だと思われています。

「親や教師、地域の大人たちが子どもに伝えないと、大切なことを気にはしない子どもになってしまうのではないかと心配があります。できるだけ地場産物を使うことで、子ど

豊かな食教育の充実を目ざしている八千代給食センターの皆さんの熱い気持ちや伝わる、温かい雰囲気や試食会だったと手紙は締めくくられていました。



これが田舎の神楽です 高田神楽を東京広島県人会の総会で発表

1月26日(水)東京のとあるホテルで、東京広島県人会の総会が開催されました。その総会のアトラクションに高田の神楽が上演されました。参加したのは美土里町の神楽団連合会で結成された混成神楽団。4回の練習と、当日の2回の練習を行い本番に臨みました。参加したメンバーは、「自分たちの神楽に対してどのような反響を得られるか楽しみだった。大きな拍手が得られてうれしい。この中から何人でも安芸高田に訪れてもらえたら」と感想を話してくれました。



1年経たずに3万食を突破 「ながいきラーメン」3万食達成記念セミナー

高田ICに隣接する道の駅「北の関宿 安芸高田」の食堂の名物「ながいきラーメン」が、1月28日(金)3万食を突破しました。このことを記念し、運営している神楽門前湯治村が記念のセミナーを開催しました。

ちょうど記念すべきラーメンを食べたのは、安佐北区に住む佐藤さん。仕事でこの地を訪れて、はじめて食べたそうです。佐藤さんには、神楽門前湯治村から桑田産のコシヒカリや地元の野菜、商品券などが贈られました。



緊張はそこまでせず、上手に舞えた 「第5回新春高宮子ども神楽発表大会」

1月30日(日)田園パラッツォで、新春高宮子ども神楽発表大会が開催されました。高宮町から4団体、吉田・八千代から1団体が出演しました。

この日、先頭を切って出場したのは羽佐竹子ども神楽団。昨年からの練習を重ねてきた「戻り橋」を発表しました。「この演目の難しいところは、おばあさんが鬼に変わるところ。また立ち合いも難しい」今日は練習どおり緊張もせず、上手に舞えたと話してくれました。



子どもたちも切り取った枝や竹を運んだ 甲田町16区地域振興会通学路の清掃活動

2月6日(日)、甲田町16区地域振興会(会長 品川次夫)と学校保護者、子どもたちが、通学路の整備を行いました。台風や雪で倒れかかった雑木や竹などが道路を覆っており、歩行の妨げになっていました。地権者の許可を得て作業を始め、数時間でうっそうとなっていた道路が晴れやかになりました。

安心で安全な地域づくりに取り組んでいく輪が今後とも大きく広がって欲しいと感じました。

小田東地域振興会レポーター 大前直行



サンフレッチェ広島&湧永製薬ハンドボールチーム市民交流会

1月22日(土)吉田運動公園体育館で、「安芸高田市合併記念サンフレッチェ広島&湧永製薬ハンドボールチーム市民交流会」が開催されました。湧永、サンフレッチェの両チームとも「スポーツ王国ひろしま」の実現と、地域の活性化に貢献する団体「トップス広島」の一員です。

当日参加した100名の小学生たちは、両チームの選手と様々なゲームやフットサル、ハンドボールのゲームを行い最後は選手達のサインをもらいました。



私たちはこんなことを思っています。 「第19回 青少年の声を聞く会」

自ら学び、自ら考えるなどの「生きる力」を育むことを願うとともに、青少年への理解と認識を深めることを目的に、「第19回青少年の声を聞く会」が1月22日(土)向原公民館で開催されました。

当日は向原町内の児童・生徒10名が「21世紀に生きる私の考え」をテーマに思いや考えが発表されました。また、活動発表として向原中学校音楽部による和太鼓演奏や「青少年を育てるために、今、何が必要か」と題して講演会も行われました。



もっとたくさん参加してほしい 安芸高田市サッカー協会発足式

1月23日(日)、吉田運動公園で安芸高田市サッカー協会の発足式が開催されました。初代会長に就任した近藤俊樹さんは、「合併がきっかけでたくさんのサッカー愛好者の協力を得てスムーズに設立することができた。今後、サッカーの普及だけでなく、青少年の健全育成、市民の健康増進などにもつとめたい」とあいさつをしました。

午後からは、サッカー公園に移動し、会員約60名でさまざまな大きさのコートでサッカーを楽しんでいました。

AKI TAKATA
My Town Topics

ホット
な
話題

このコーナーは市内のいろいろな出来事を紹介するコーナーです。皆さんの身近な出来事を知らせてください。

連絡先 安芸高田市 企画課
TEL 42-5612
〒731-0592 安芸高田市吉田町吉田791番地
Eメール info@akitakata.jp

「自分だけよければいい」ほめて 児玉更太郎市長と新春対談 元プロ野球「日ハム」大沢啓二監督

今冬一番の寒波襲来の天気予報が出るなか、平成17年1月30日午後4時から八千代町「フォルテ」に、テレビ番組で御なじみの元日本ハム大沢啓二監督を迎えて、下根振興会主催による「人間かしこいだけじゃだめだ」と題しての講演会が行われた。

児玉市長と大沢親分の対談

講演会に先立ち、末田博信振興会長の司会によって、児玉更太郎市長との新春対談が行われた。対談の中で児玉市長は「各地域には素晴らしい指導者がいて、その人たちが核になり、現在32の地域振興会ができています。その各地域振興会と行政が一体となってまちづくりや人づくりを進めていこうという合併後の目標を準備段階から定め、合併してからその目標に向かって進んでいる」と話された。

大沢啓二さんは「自治体もプロ野球界も合併ばやりだが、それがマイナスにならないことを祈っている。『人の気持ちのわかる人間』という人づくりが大切だ。そのような人を育てていくことが良いまちへ発展していくのではないかと思う。」

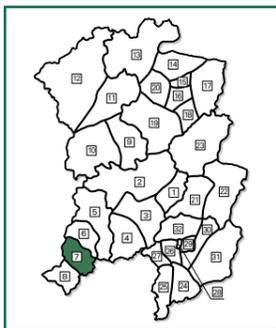
振興会 レポート

32の地域振興組織の取り組みを紹介するコーナーです。

レポート7
八千代町下根振興会



レポーター
西村 正諄



まちづくりも人の批判、反対を恐れず『勇氣』を持って取り組んで欲しい」と、児玉市長や末田会長、また会場に集まった約160名の参加者に気持ちを伝えられていた。



「人間かしこいだけじゃだめだ」

新春対談に続いて大沢啓二元監督の講演が、1時間半にわたって行われた。

「大学野球部では、最後までレギュラーになれず、グラウンド整備や

球ひろいだけで卒業していった人間もいる。しかし投げ出さず最後までやりとげたメンバーは社会に出てみな立派にやっている。野球でも、苦しみ求めて積極的にやっていると人間が成功している。自分のできるところを精一杯、責任をもってやることだと。だれかが助けてくれる。代わってくれる。積極的に行動するリーダーにはみんながついてくる。」

「最初は人前で3分もしゃべったら、頭が真っ白になってしゃべれなかった。しかし今は1時間でも2時間でもしゃべれる。失敗しても逃げないで挑戦することだ。自分は俳優にも歌手にも挑戦した。大物演歌歌手も本番前はうがいや発声練習をして、必死にベストな状態を出せるよう準備している。世界のホームラン王も、だれもない部屋でバットの素振りをする姿を見た。汗びっしょりですごい迫力であった。要は自分ができるところを、精一杯やることだ」責任感、人を大切にすることの大切さが大事だということが話の中から伝わってきた。

1時間30分という時間が、手振りユーモアあふれる話で、爆笑・爆笑のうちに瞬間に過ぎ去った。外に出てみるとあたりは、どっぶり日暮れていた。冷たい心地よい風が頬をなでた。

安芸高田 消防



安芸高田市消防本部・安芸高田消防署
TEL 42-0931 FAX 47-1191

春季全国火災予防運動 林野火災防止月間



3月1日から7日までの一週間、全国一斉に春の火災予防運動が実施されます。さらに、安芸高田市では平成5年に発生した吉田町の大規模林野火災を教訓に、

3月20日から4月20日までの一カ月間を林野火災防止月間として林野火災予防運動を重点的に毎年行っています。

この時期は空気が乾燥し風の強い日が多く、火災が起こりやすくなっていますので火気の取り扱いには十分注意しましょう。

第一回防火書初め入賞者決定

児童期からの火災予防思想の啓蒙を図ることを目的として、安芸高田市の小学生（小学校）を対象に防火書初めを募集しました。905点の応募があり、厳正な審査の結果次の方が入選されました。

おめでとう
ございます



■最優秀賞

- 【1年生】 実方美紗（小田東小）
- 【2年生】 廣兼和歩（船佐小）
- 【3年生】 森下真鈴（可愛小）
- 【4年生】 実方美穂（小田東小）
- 【5年生】 岡島由喜（吉田小）
- 【6年生】 箕岡知美（甲立小）

■優秀賞

- 【吉田小学校】 森江昌昭（3年）
- 【金島美季（6年）岡島由実（6年）
- 【可愛小学校】 中間誠弥（1年）
- 【郷野小学校】 田中結基（4年）
- 【小田小学校】 杉田ルカ（2年）
- 【根野小学校】 青野 遙（3年）
- 【美土里小学校】 宮本典佳（5年）
- 【船佐小学校】 築地祥平（5年）
- 【来原小学校】 竹内 豊（4年）
- 【川根小学校】 住田 花（1年）
- 【甲立小学校】 喜連川朱音（2年）
- 【小田小学校】 板倉里奈（6年）
- 【小田東小学校】 竹島聡伺（2年）
- 【向原小学校】 藤側詩織（5年）
- 高原千尋（6年）

耐寒訓練

安芸高田消防署特命潜水隊

現在、安芸高田消防署特命潜水隊員は、17名が水難救助業務を兼務しています。

この業務は、水難事故時の活動で、水中という特殊な環境の中で行い、時には長時間にわたる活動となり、常に危険と隣り合わせの活動です。

災害の最前線で活動する消防職員の中から選抜された隊員が、潜水士の国家資格を取得し、水



プチ・ファイヤーマン

消防24時間体験

安芸高田消防署では、今年も4月から9月までの間、安芸高田市内の小学4年生から6年生までを対象に、第3土曜日消防署24時間体験学習を行います。

詳しくは、安芸高田市消防本部総務課までご相談ください。



ジャグジー(写真奥)では疲れを癒して、流水プール(写真手前)では自分のペースにあわせたトレーニングを行うことができます。



幼児プールと子どもプールもあります。幼児プールは約5.8m×5.5m(深さ35cm)、子どもプールは約5.8m×4.3m(深さ70cm)です。



プールに入る前は化粧や整髪料をしっかりと落とし、シャワーで全身を水になじませてから入ります。水をきれいに保つことにご協力をお願いします。



25m×6コース公認プールです。深さは1.35m～1.55mあります。隣に歩行プール(1周22m)があります。

吉田温水プール

- 住所 安芸高田市吉田町西浦340番地1
- 電話 47-1210
- FAX 42-3063

3月6日(日)

吉田温水プール オープン 体力づくり、健康づくりに活用してください

- 利用時間 午前10時～午後9時(ただし3月中は午後6時までとします。)
- 休館日 水曜日(ただし水曜日が祭りの場合は開館)
- 料金
 - 【一般使用】
 - 小学生・中学生・高校生 一人1回200円
 - 18歳以上 一人1回400円
 - 【占用使用】
 - 1コース2時間まで 1,000円
- プール回数券11枚つづり
 - 小学生・中学生・高校生 2,000円
 - 18歳以上 4,000円
- ※3月中は無料でプールを開放します。
- ※コースの占用は5名以上からの申込になります。
- ※2時間を超え1時間ごと 400円

平成17年12月末完成に向け

特別養護老人ホーム かがやき(仮称)工事着工

1月21日(金)向原総合福祉センターかがやきの隣接地で、特別養護老人ホームかがやき(仮称)の安全祈願祭が開催されました。行政・議会・地元・工事それぞれの関係者約60名が出席し、工事の安全を祈願しました。

この特別養護老人ホームかがやき(仮称)は、建物は行政で建設し、経営は民間の法人にお願いする公設民営で運営する予定です。こうした運営は、安芸高田市内では高美園が同じ方法で運営しています。

安全祈願祭において児玉市長は「この特別養護老人ホームの建設は、安芸高田市になっての大きな事業第一号となる。かがやきで行われる各種サービスと連携していくことで安芸高田の福祉が向上することを願う」とあいさつを述べました。

特別養護老人ホーム かがやき(仮称)施設の概要

平成17年12月26日完成予定
ベッド数

特別養護老人ホーム50床
ショートステイ 10床
■入所申込の受付 平成17年春ころから受付開始予定(詳しくは高齢者福祉課へお問い合わせください)

平成18年3月から
運営開始(予定)
■運営主体
社会福祉法人ちとせ会(予定)

このたび着工した特別養護老人ホームは3階建ての建物になります。



児玉市長がくわ入れをして工事の安全を祈願しました。

安芸高田市六町

シルバー人材センター等 統合協定調印式

4月1日
社団法人安芸高田市シルバー人材センター
誕生に向けて
6団体の代表が統合協定書へ調印



1月13日(木)JAたかた会館で安芸高田市六町シルバー人材センター等統合協定調印式が挙行されました。高田郡6町の合併に伴い、平成13年11月から郡内のシルバー人材センターと高齢者能力活用協会が協議会を設置し、意見交換や協議を続けてきました。これまでの議論の結果を統合協定書にまとめ、この協定書のとおり統合することを6団体の代表が確認しました。

社団法人安芸高田市シルバー人材センターは、平成17年4月1日に誕生します。主たる事務所は現在の吉田町の事務所に置かれ、本所となります。甲田町の事務所が支所となり、八千代・美土里・高宮・向原の事務所が出張所と呼ばれることとなります。各町とも現在の事務所が引き続き使われます。おおむね60歳以上の会員は、自らの知識や経験を活かし地域へ貢献することで、自らの生きがいづくりや地域社会づくりに寄与されています。統合により充実したシルバー人材センターになるようにと、統合に向けての準備が急ピッチですすめられています。

お役立ち情報

- 市役所本庁
TEL.42-2111代
(総務部、自治振興部、市民部、福祉保健部)
- 市役所第1分庁舎
TEL.47-4021代
(産業振興部)
- 市役所第2分庁舎
TEL.47-1201代
(建設部)
- 市役所第3分庁舎
TEL.42-0049代
(教育委員会)
- 消防本部
TEL.42-0931代
- 八千代支所
TEL.52-2111代
- 美土里支所
TEL.54-0311代
- 高宮支所
TEL.57-0311代
- 甲田支所
TEL.45-4111代
- 向原支所
TEL.46-3111代

受賞

平成16年度広島県教育賞 広島県教育奨励賞

■広島県教育賞(体育・スポーツ)
浅原晃さん(高宮町)
高宮B&G海洋センター所長



剣道の指導を通して青少年のスポーツ活動の環境づくりに努め、青少年の健全育成に貢献したほか、積極的に広域スポーツ大会を誘致することで、地域のスポーツに対する意識を高めた。

■広島県教育奨励賞(社会教育)
吉田町子ども心るさと探検隊
隊長 芦田宏治さん
子どもたちを対象とした体験活動を継続して行っており、子どもたちに郷土愛を育むこと、仲間づくりを促進すること

とで地域の青少年の健全育成に大きく貢献している。



催し物

八千代の丘美術館
センターギャラリー1展示
芸術農園「四季の里」八千代の丘美術館 TEL.52・3050

■開館時間
午前10時～午後5時
■入場料 無料
●三良坂平和美術館
所蔵作品展
3月4日(金)～3月28日(月)
県北で活躍した作家の作品を中心に展示

子どもの本の講座

吉田教育分室 TEL.42・2411
とき 3月28日(月)
午後2時～

■ところ 吉田公民館 第1会議室
■テーマ 「絵本を楽しもう」
■講師 三浦精子さん
※興味がある方はふるってご参加ください。

募集

第14回美土里E.K.I.D.E.N.
(駅伝)出場チーム募集
美土里教育分室 TEL.59・2120



健康・体力の維持増進と、活力のある地域づくりの一助となることを目標とした、第14回美土里E.K.I.D.E.N.(駅伝)の出場チームを募集しています。この大会は地域のチームを中心に、市内の企業や学校で編成したチームなどが出場するユニークな大会です。

■ところ 美土里町内 8区間 20.6km
■参加資格 安芸高田市内に在住または在勤の者
■参加費 無料
■申し込み 3月9日(水)までに美土里教育分室へ

安芸高田市サッカー協会 会員募集

安芸高田市サッカー協会事務局
松村 TEL.090・41031533
安芸高田市サッカー協会では、会員を募集しています。サッカーを楽しんでいる方にぜひ参加していただきたいと思ひます。
サッカーだけでなく、フットサル愛好家もOKです。プ

レーしなくても、観戦は好きでもOKです。
この協会を応援してやるうと思つていただける方に参加していただきたいと思ひます。詳しいことは事務局(松村)に入会希望か説明希望と録音してください。こちらからお電話します。

平成17年度自衛官募集
自衛隊可部募集案内所
TEL.082(8)15・3980

■一般・技術幹部候補生
資格▼20歳から26歳未満の人。(22歳未満の人は大卒(見込含)大学院修士課程修了者は、28歳未満)
■歯科・薬剤幹部候補生
資格▼専門の大卒(見込含)20歳以上30歳未満(薬剤は26歳未満。大学院修士課程修了者は、28歳未満)
■2等陸・海・空士男子
資格▼18歳以上27歳未満
■受付期間 4月4日(月)～5月13日(金まで)。(2等陸・海・空士男子は年間通して受付)

新しい技術を得るため 各種訓練・講座受講者募集

広島北部地域職業訓練センター
TEL.0824)62・8500

■ホームページデザインコース
【期間】3/1～3/25の火・金曜日午後6時30分～
【定員】20人
【受講料】10,000円
■PowerPoint基礎(昼)
【期間】3/22～3/23の火・水曜日午後1時30分～
【定員】20人
【受講料】8,000円

保健と福祉

突然体調が...。そんな時

《休日》午前9時～午後6時
3月6日(日)
増田内科・小児科医院
(甲田町) 【内科・小児科】
TEL.45・2031

3月13日(日)
平岡医院 (甲田町)
【外科】TEL.45・2002

3月20日(日)
佐々木クリニック (吉田町)
【内科・小児科】TEL.43・1111

3月21日(祝)
八千代病院 (八千代町)
【内科】TEL.52・3838

献血にご協力を

献血は多くの患者さんの命を救います。毎日多くの尊い生命が輸血により救われています。それは全て、皆さんの善意の献血で支えられています。



3月27日(日)
佐々木診療所 (高宮町)
【内科】TEL.57・0022

【休日・夜間】24時間対応
吉田総合病院 (吉田町)
【救急診療所】TEL.42・0636
※都合により変更になる場合があります。出かける前に医療機関へお問い合わせください。

【吉田町】
■とき 3月25日(金)
午前10時～午前11時
午後0時15分～午後3時30分

■ところ 吉田公民館

ツベルクリン反応検査 BCG接種

保健医療課 TEL.42・5619

■とき
3月22日(火)
ツベルクリン反応検査
3月24日(木)
反応判定・BCG接種
午後1時～1時30分受付

■ところ 吉田人権会館

■対象 満3カ月～満4歳未満の未接種乳幼児
※対象者には個人通知します。

平成17年度人間ドック 検査申込みはじまります

保健医療課 TEL.42・5619

1日人間ドックの申込期間が決まりました。希望者は期間内に直接申し込みしてください。

■美土里地区・高宮地区
【申込】3月14日～3月25日
【実施】4月4日～5月13日

■吉田地区・向原地区
【申込】4月8日～4月22日
【実施】5月16日～8月31日

■八千代地区・甲田地区
【申込】10月14日～10月28日
【実施】11月15日～12月22日

「食」のさんぽ道

生活習慣病予防 ～肥満予防～

～食生活改善推進協議会 吉田支部～

1月18日(火)川本集会所で、料理講習会を開催しました。3人の男性も一緒に、白菜やれんこんなど、身近にある野菜を使った献立を実習しました。「度々してくれよ！」と参加者の声があり、今日の料理実習が、それぞれの家庭で、「食生活を見直すよききっかけになれば」と思ひます。



お役立ち情報

- 市役所本庁
TEL.42-2111代
(総務部、自治振興部、市民部、福祉保健部)
- 市役所第1分庁舎
TEL.47-4021代
(産業振興部)
- 市役所第2分庁舎
TEL.47-1201代
(建設部)
- 市役所第3分庁舎
TEL.42-0049代
(教育委員会)
- 消防本部
TEL.42-0931代
- 八千代支所
TEL.52-2111代
- 美土里支所
TEL.54-0311代
- 高宮支所
TEL.57-0311代
- 甲田支所
TEL.45-4111代
- 向原支所
TEL.46-3111代



AKITAKATA Information

介護予防実態調査にご協力を

高齢者福祉課 TEL.42・5615

安芸高田市では、市内在宅介護支援センターに委託し、高齢者の方に対する介護予防実態調査を実施しています。

高齢者の方が介護状態にならないことを目的に、聞き取り調査を行います。介護状態になる危険性の高い高齢者には、介護予防計画を個別に作成します。また、元氣な高齢者も含め、総合的に安芸高田市の介護予防事業を実施するための材料とするものです。次の事業所の職員がお宅を訪問した場合、ぜひともご協力ください。

- 委託事業者
- ①吉田甲田在宅介護支援センター 百楽荘
- ②吉田町在宅介護支援センター JA吉田総合病院
- ③八千代町在宅介護支援センター レークサイド土師
- ④高美園在宅介護支援センター
- ⑤在宅介護支援センター 甲田(特養甲田)
- ⑥向原在宅介護支援センター

（かがやき）

※各事業所の職員は必ず写真入りの職員証を提示します。右記の事業所以外の者、職員証の提示が無い者にはご注意ください。

育児で悩んでいませんか？

市内全域対象の子育て相談室 保健医療課 TEL.42・5619

ひとりで悩まず、負担感や不安感をだれかに聞いてもらうのも気持ちに楽になる1つの方法です。次のとおり子育て相談会を開催します。

- とき 3月17日(木) 午後1時～午後4時
- ところ 田園パラッツォ相談室
- 内容 子育て相談員の森中泰子さん(広島市在住)が相談に応じます。
- 申込み 保健医療課が各支所市民生活課へ事前に申し込んでください。

「痴呆」という呼び名が「認知症」にかわりました

高齢者福祉課 TEL.42・5615

平成16年12月24日から国や県・市では「痴呆」を「認知症」という言葉で表すことになりました。

「痴呆」という呼び名が、人をばかにしているような意味に誤解され、脳血管障害などによる症状の早期発見・早期診断の取り組みのさらたけになっていました。厚生労働省が立ち上げた検討会は、ホームページを使い広く国民に意見を求めた結果、痴呆という言葉に不快感や人をばかにしているような感覚を覚える人が半数以上を占めました。また、痴・呆それぞれの文字も「痴漢(ちかん)」「白痴(はくち)」「呆気(あつけ)」「阿呆(あほう)」などあまり良い使い方はされていません。その結果、検討会是一般からの回答を参考に「痴呆」という呼び名を「認知症」に改める答申を厚生労働省にしました。

子育て支援センター「なかよし広場」お楽しみ会

吉田保育所内子育て支援センター TEL.42・0662

- 今後の使用例は次とおり
痴呆性高齢者
↓認知症高齢者
認知症の高齢者
※なお、医学上の用語では引き続き「痴呆」という用語が使用されます。(例：アルツハイマー型痴呆、血管性痴呆)
- とき 3月17日(木) 午前10時～
- ところ 吉田保育所
- 申込期限 3月10日(木)まで
- 会費 大人 200円
子ども 無料
- ※会食を計画していますので申し込みをお願いします。(会費(200円)は当日受付でいただきます。)
- 持参物
スプーン、フォーク、はし

各種相談・検診の日程

芸北地域保健所 保健課 TEL.0822・814・3181

- 「ひきこもり」の相談
- とき 3月17日(木) 午後1時30分～3時30分
(相談は事前に連絡してください。予約制。秘密は厳守します)
- ところ 芸北地域事務所 第2庁舎2階指導室
- HIV抗体検査
- とき 3月14日(月) 午前9時～11時
- ところ 芸北地域保健所

酒をやめたい、酒で困っている、またその家族の相談に 断酒会

広島断酒ふたば会 中村忠 TEL.43・1605

- とき・時間
3月7日(月) 例会
午後7時～午後9時
3月13日(日) 昼例会
午後2時～午後4時
- ところ 吉田公民館
- ※詳しい内容は、広島断酒ふたば会へお問い合わせください。

子どもの発育・発達・心の相談 定期巡回相談

広島県中央児童相談所 TEL.0822・2554・0381

- とき 3月14日(月) 午前10時30分～午後3時
- ところ 農林局高田地方農村整備事業所(吉田町常友)
- ※児童福祉司、心理判定員が相談に応じます。
- 相談希望者は広島県中央児童相談所が保健医療課、各支所保健師まで連絡してください。

お知らせ

確定申告は、もうお済みでしょうか？

吉田税務署 TEL.42・0008

確定申告と納税の期限
所得税、消費税・地方消費税(個人事業者)、贈与税の申告と納税の期限は次のとおりです。

- 平成16年分
●所得税 3月15日(火) 午後7時～午後9時
- 消費税・地方消費税(個人事業者) 3月31日(木) 午後2時～午後4時
- 贈与税 3月15日(火) 納税には、安心、便利な口座振替をご利用ください。
- 〔振替日：所得税4月19日(火)、消費税・地方消費税4月26日(火)〕
- 自宅のパソコンで申告書を作成
国税庁ホームページ内に「確定申告書作成コーナー」を設置しています。

所得税の確定申告書、青色申告決算書・収支内訳書、個人事業者の消費税確定申告書を自宅のパソコンで作成することができます。是非ご利用ください。

また、申告書等ができるだけ早く郵送などにより提出していただくようお願いいたします。



↑ホームページ内のここをクリック!!

4月から7点が変わる 国民年金制度

市民生活課 TEL.42・5616

三次社会保険事務所 TEL.0824・62・3107

平成16年年金制度改正に伴い、国民年金法施行令等の一部を改正する政令(平成17年4月1日施行)が、平成16年12月15日に交付されたところから、平成17年4月から実施される、国民年金制度改正等の内容は次のとおりです。

- 1 保険料の月額が増額
平成16年度月額13,300円だった国民年金保険料が、平成17年度月額13,580円になります。
- 2 口座振替による前納が有利
国民年金保険料の口座振替(一年一括払い)を前納にすると割引額が増えます。
- 保険料年額 162,960円
- 現金前納 160,070円
- (2,890円割引)
- 口座振替前納 159,540円
- (3,420円割引)

3 口座振替早期制度

国民年金保険料の口座振替(月払い)に、早期制度ができました。

月払い保険料の引落としを、翌月末引落としから、当月末引落としにすると毎月40円割引になります。

4 20歳代のあなた

国民年金若年者納付猶予制度が導入されます。20歳代の方は、本人(配偶者を含む)の所得が一定額以下の場合、申請により保険料の納付が猶予されます。

5 単身世帯のあなた

国民年金保険料免除の所得基準が、単身世帯の方を中心に一部緩和されます。

- 全額免除の所得基準 100万円↓122万円
- 半額免除の所得基準 150万円↓227万円

それぞれ引き上げられます。

6 厚生年金や共済組合など加入者の扶養である配偶者

第3号被保険者(厚生年金・共済組合等)に加入している者に扶養されている配偶者の特例が実施されます。

2年以上前の第3号期間について、今回届け出ることにより、第3号被保険者の資格を得ることができま

7 障害1・2級であって、障害年金を受けていないあなた

特別障害給付金制度がはじまります。この制度は、国民年金制度の発展過程において生じた特別な事情にかんがみ、障害基礎年金等を受給していない障害者に対して、福祉的措置を講じる観点から給付金の支給を行う制度です。

【対象者】

- 平成3年3月以前の国民年金任意加入者であった学生。
 - 昭和61年3月以前の国民年金任意加入対象であった厚生年金保険等に加入していた方の配偶者。
- であって、任意加入していなかった期間中に生じた傷病が、現在、障害基礎年金の1・2級相当の障害の状態にある方です。

該当されると思われる方は、早めに三次社会保険事務所(電話0824・62・3107)まで連絡してください。

お役立ち情報

- 市役所本庁
TEL.42-2111代
(総務部、自治振興部、市民部、福祉保健部)
- 市役所第1分庁舎
TEL.47-4021代
(産業振興部)
- 市役所第2分庁舎
TEL.47-1201代
(建設部)
- 市役所第3分庁舎
TEL.42-0049代
(教育委員会)
- 消防本部
TEL.42-0931代
- 八千代支所
TEL.52-2111代
- 美土里支所
TEL.54-0311代
- 高宮支所
TEL.57-0311代
- 甲田支所
TEL.45-4111代
- 向原支所
TEL.46-3111代

交通遺児等育成資金
現在2,000人が活用しています
自動車事故対策機構 広島主管支所
(082)297・2255

自動車事故によって死亡または、重度後遺障害者になった方の子ども(0才から中学校卒業まで)に対して、次のとおり育成資金を貸しています。
■貸付申込者 その子どもを扶養している保護者
■貸付金額 はじめに一時金 155,000円
毎月 20,000円
入学(小中学校) 支度金 44,000円
■利子 無利子
■貸付期間 貸付が決定した月から中学卒業の月まで
■返済期間 中学校卒業後、一年据置き、月賦又は半年賦併用による20年以内の均等払い(高校・大学などへ進学する場合、在学期間中は返還が猶予されます。)

専門家が相談にのじます 無料登記相談
土地や建物は、生涯を通じての大切な財産です。この大切な財産を法務局にある登記簿へ記録することで、その権利が守られます。しかし、土地の場所が分からない、境界がはっきりしないなど、問題は後を絶ちません。
4月1日は「表示登記の日」。この日から1週間、市内各土地家屋調査士事務所でも無料登記相談を行います。登記のこと、境界のことなど相談してください。

■ところ

市内各土地家屋調査士事務所	住川事務所	TEL.57-1137
	橋本事務所	TEL.54-1006
	山崎事務所	TEL.42-1316
	舩岡事務所	TEL.47-2052
	井尻事務所	TEL.42-1065
	植野事務所	TEL.42-1316

■相談料 無料

吉田地域振興事業団の名前が変わりました
安芸高田市地域振興事業団
42・1011

吉田町地域振興事業団は安芸高田市地域振興事業団へと名称を変更しました。住所や電話番号などは変更ありません。
■名称 財団法人安芸高田市地域振興事業団
■住所 安芸高田市吉田町吉田406番地
■FAX 42-4322
■Eメール misu33@noren.ne.jp
■ホームページ http://www4.aon.ne.jp/~yoshida3/

お詫びと訂正
広報あきたかた2月号の中に一部誤りがありました。お詫びいたしますとともに訂正させていただきます。

16ページ 新春高宮子ども神楽発表大会
■正 八千代子ども神楽団
■誤 八千代子ども神楽同好会
24ページ 五龍城の位置
■正 甲田町上甲立
■誤 甲田町下甲立

市内の図書館より

- ★吉田図書館 (吉田公民館内)
- ★八千代図書館 (八千代人権福祉センター内)
- ★美土里図書館 (美土里生涯学習センターまなび内)
- ★田園パラッツォ図書館 (高宮田園パラッツォ内)
- ★甲田図書館 (甲田若者定住センターミュージズ内)
- ★向原図書館 (向原公民館内)

図書館からおすすめの本

- ★吉田図書館
『株』で3000万円儲けた私の方法 山本有香/著
専業主婦になりたての5年前、元手100万円で株式投資をスタート。それが1年後に200万円、2年後に400万円、5年後に3,200万円になった!山本流・株投資の極意がぎゅっつりつまっています。
- ★八千代図書館
『アンナGO!』 安田昌弘・安田あけみ/著 (小学館)
肉体の発達障碍(しょうがい)という運命を負わされた少女・知夏が、愛犬・アンナとの出会いによって得た、夢、愛情、友情…。少女と犬が織り成す感動の物語。
- ★美土里図書館
『すて猫カテキン』 新美敬子/写真・文 (河出書房新社)
朝、子猫の呼ぶ声が聞こえた気がした。出会った小さなのちを守ろうとする作者と、作者を親と認めて成長する子猫の、いじらしい奮闘記。

ほんご 本読

★田園パラッツォ図書館
『ピーコとサワコ』 ピーコ・阿川 佐和子/著
オモロイ話なら、当代随一、口から生まれた二人が贈る本音トーク。テレビのウラ話やファッションなどを斬る!斬る!

★甲田図書館
『大人のためのブランド・カー講座』 徳大寺有恒/著
自分のライフスタイルに合った、本当によい車がほしい人、必読!日本を代表する自動車評論家が、国内外の自動車ブランドを徹底分析。乗る前に知っておきたいことの全てが分かる。

★向原図書館
『アゴヒゲアザラシたまちゃんのナゾ』 塚崎慎一郎/著
たまちゃんは何を食べてるの?どこで寝てるの?どこから来たの?そんなたまちゃんの疑問をすべて解説。

学用品費・学校給食費などを補助 就学援助制度
学校教育課 TEL.42・0360
小・中学校に在学(入学)する児童・生徒が家庭の経済的な理由により、就学することが難しいと認められる場合、学用品費・学校給食費などを補助する就学援助制度が受けられます。
制度の詳細な内容などは、児童生徒が在学(入学)する

学校が学校教育課へお問い合わせください。
課税売上が1千万円を超えると、記帳と書類の保存が必要
吉田税務署 TEL.42・0008
平成15年分の課税売上高が1,000万円を超えている方は、平成17年分から記帳と帳簿などの保存が必要です。課税仕入れなどに係る消費

税額の控除を受けるためには、事実を記録した帳簿と事実を証する請求書などの両方の保存が必要となります。
これらの保存が無い場合、仕入税額控除が受けられなくなり、記帳と書類の保存を確実にお願いします。詳しくは、最寄りの税務署や税務相談室におたずねください。

およろこびとおくやみ

およろこび

地域	名前	性別
吉田町	松島 煌	男
	安保 美鈴	女
	江角 天斗	男
	竹廣 修吾	男
	武田 月姫	女
	上杉 夏海	女
八千代町	久保田 紘生	男
高宮町	泉 柊哉	男
	渡利 日菜多	女
	末廣 美咲	女
甲田町	折端 亜美	女
	山中 麻結	女
	友兼 愛華	女
	山田 大地	男

おくやみ

地域	名前	歳
吉田町	岩崎 義明	74
	内藤 文三	79
	原田 澄子	84
	武田 繁喜	74
	石迫スエノ	93
	武永カズヨ	95
	長岡キミエ	84
八千代町	平岡マツエ	93
	松下カズエ	87
	田村 彰雄	83

このおよろこびとおくやみは安芸高田市内の窓口で届け出をされた方で、掲載を承認された方のみ掲載するようにしています。市外で届けられた方で名前の掲載を希望される方は、企画課 ☎42-5612までご連絡ください

美土里町	浮本 盟子	82
	新宅ヨシコ	96
	松本 謙三	78
	青野 芳輝	81
	沖田 信子	75
	須和 夏行	75
高宮町	森田 工	83
	中崎 秋義	76
	中川 富子	76
甲田町	岩見 作省	84
	森田 康裕	31
	川岡アヤコ	97
	田村ユキエ	85
	住岡 久登	84
	本田 政美	76
	山崎カツエ	83
	旭 藤子	88
	早瀬 敏昭	50
	堀越ハツミ	92
向原町	金川サガミ	103
	正路 元	75
	小野 敏江	50
	山本 挑	63
	佐伯 登熊	79
	山口 律男	89
	重本コトミ	90
	和泉 信雄	69
	福島 賢	60
	井上 喜雅	82

(敬称略)

市の人口

総人口	34,060人
男	16,373人
女	17,687人
世帯数	13,032世帯
平成17年2月1日 現在	

今月の納税
ありません。



各支所発

八千代掲示板

八千代支所市民生活課 ☎ 52-2113

【健康相談】
午前の部10:00～11:30/午後の部13:30～15:00
3月18日(金)午前 刈田生活センター/午後 下根集会所
24日(木)午後 北原集会所
28日(月)午前 本郷集会所

【リハビリ】3月9日(水)・23日(水)
いずれも13:30～15:30 人権福祉センター

【転倒予防教室】3月4日(金)・11日(金)・25日(金)
いずれも13:30～15:00 人権福祉センター

【健康教室プラス1】
3月14日(月)10:00～13:00 人権福祉センター
3月22日(火)10:00～13:00 上根集会所

【育児相談】3月7日(月)10:00～11:30 人権福祉センター

【乳児健康診査】
3月17日(木)人権福祉センター 受付13:00～13:30
対象(前期)H16・8・16～H16・11・15生まれ
(後期)H16・2・16～H16・5・16生まれ

【犬・猫の引き取り】3月7日(月)
9:27～B&G海洋センター/14:00～上根集会所

八千代教育分室 ☎ 52-2115

【移動図書館さわやか号】
根野地区 3月16日(水)/刈田地区 3月17日(木)

【おはなし会】
3月12日(土)11:00～11:30人権福祉センター研修室

【読書会】3月12日(土)13:00～15:30人権福祉センター研修室

高宮掲示板

高宮支所市民生活課 ☎ 57-0313

【望会(リハビリ)の集い】
3月2日(水)・16日(水)13:30～15:30 田園パラッツォ

【遊友ひろば】(園庭を開放します)
3月 1日(火)くるはら保育園
3月15日(火)かわね保育園
3月22日(火)ふなさ保育園 いずれも9:30～11:30

【育児相談】
3月8日(火)10:00～12:00 基幹集落センター

【子育て相談室】
3月17日(木)13:00～16:00 田園パラッツォ

市民生活課へ予約が必要です

【犬・猫の引き取り】
3月23日(水) 9:00 来原コミュニティセンター
9:20 安芸高田市高宮支所 9:50 川根郵便局

高宮教育分室 ☎ 57-1803

【第22回たかみや文化祭】
■と き 3月6日(日)～3月13日(日)
■会 場 田園パラッツォ
■内 容 ・芸能発表・生け花展示・お茶席 3月6日(日)
・作品展示 3月6日～13日

甲田掲示板

甲田支所市民生活課 ☎ 45-5120

【健康相談】
午前の部10:00～11:30/午後の部13:30～15:00
3月 7日(月)午前:小原中央集会所
22日(火)午前:小原中央集会所
午後:ふれあいセンターこうだ

【リハビリ】
3月16日(水)13:30～16:00 ふれあいセンターこうだ

【すこやか健康教室⑩】3月25日(金)9:30～13:30
ふれあいセンターこうだ ～生活習慣病予防～

【育児相談】
3月16日(水)10:00～11:00 ふれあいセンターこうだ

【にこにこわんぱく教室(幼児親子教室)】
3月4日(金)10:00～13:30 ふれあいセンターこうだ

【ひよこくらぶ(乳児親子教室)】
3月18日(金)10:00～13:00 ふれあいセンターこうだ

【犬・猫の引き取り】3月10日(木)10:20 甲田支所

甲田教育分室 ☎ 45-4311

【第4回安芸高田市甲田町芸術祭】
～甲田町の芸術・文化がミュージズ・公民館に集う～
■展示発表 3月11日(金)・12日(土)・13日(日)
10:00～17:00(ただし13日(日)は15:00終了)
甲田公民館
※展示する作品(俳句、短歌、川柳、ちぎり絵、手芸、絵画、水墨画、彫塑、工芸、書、写真、デザイン、生花、盆栽など)

■映画上演会 (内容:北の零年)3月12日(土)14:00～17:00、18:00～21:00 ミューズ多目的ホール

■芸能発表 3月13日(日)10:00～16:00
ミュージズ多目的ホール

【移動図書】3月4日(金)・18日(金)15:30～17:00
小田小学校・小原保育所・ケアハウス

【甲田大学】3月16日(水)10:00～14:30 ミューズ

【かみしばい会】3月19日(土)14:00～15:30 ミューズ

情報掲示板

吉田掲示板

吉田運動公園 ☎ 42-1010

3月20日(日)第10回近都市スポーツ少年団卓球交流大会
3月26日(土)第13回高田ベテラン卓球大会(硬式の部)
3月27日(日)第13回高田ベテラン卓球大会(ラージボールの部)
4月 3日(日)第27回広島県北部卓球大会

吉田サッカー公園 ☎ 42-1600

4月1日(金)～3日(日)吉田フェスティバル

吉田人権会館(旧隣保館) ☎ 42-2826

【暮らしの総合相談会【心配ごと相談・行政相談・人権相談】
3月3日(木)・17日(木)10:00～15:00

保健医療課 ☎ 42-5619

【健康相談】午前の部10:00～11:30/午後の部13:30～15:00
3月 1日(火)午前:川原集会所/午後:5丁目高樋集会所
2日(水)午前:久保集会所
3日(木)午前:相合集会所
7日(月)午後:東集会所
9日(水)午前:竹原集会所/午後:下福原集会所
15日(火)午前:石原会館/午後:川本集会所
16日(水)午前:千川集会所/午後:下入江集会所
17日(木)午後:市場上集会所
18日(金)午前:国司集会所
22日(火)午後:古市柿原集会所

【リハビリ】3月14日(月)・28日(月)13:30～15:30 吉田人権会館

【さわやか健康教室】
3月4日(金) まとめ 10:00～13:00 吉田運動公園
お問い合わせ:保健医療課保健師 ☎ 42-5619

【育児相談】3月17日(木) 10:00～15:00(正午から1時間休み) ふれあいセンターいきいきの里

【乳児健康診査】
3月 3日(木)前期乳児健康診査 対象:H16年8月～10月生まれ
3月10日(木)後期乳児健康診査 対象:H16年3月～5月生まれ
会場:ふれあいセンターいきいきの里 受付13:00～13:15
※対象者には個人通知します

市民生活課 ☎ 42-5616

【犬・猫の引き取り】3月7日(月)9:00 市役所本庁

芸北地域保健所 ☎ 082-814-3181

【平成16年度後期 原爆被爆者定期健康診断】
料金は無料。被爆者健康手帳または健康診断受給者証を持参。
3月3日(木)・7日(月)・9日(水)・10日(木)13:00～13:30
J A 吉田健康管理センター(吉田総合病院内)
3月7日(月)・8日(火)10:00～11:00と13:00～14:00 可愛集会所
3月 9日(水)10:00～11:00と13:00～14:00 郷野集会所
3月10日(木)10:00～11:00 丹比西コミュニティ
13:00～14:00 丹比生活改善センター

美土里掲示板

美土里支所市民生活課 ☎ 54-0313

【ふれあい塾】
3月15日(火)10:00～14:00 山村開発センター

【在宅介護者の会】
3月9日(水)13:30～16:00 山村開発センター

【あかちゃん教室】
3月16日(水)10:00～12:00 山村開発センター

【乳児健診】
3月11日(金)山村開発センター 受付13:00～13:30
対象:H16.9.1～H16.11.30生まれ および
H16.3.1～H16.5.31生まれ

【リハビリ(にこにこ会)】3月8日(火)・22日(火)
10:30～15:00 山村開発センター

【転倒予防教室(いきいき)】3月4日(金)・18日(金)
10:00～11:30 山村開発センター

【犬・猫の引き取り】3月10日(木)9:40 美土里支所

美土里教育分室 ☎ 59-2120

【げんき広場】
3月 2日(水) お別れ会準備
3月15日(火) お別れ会準備
3月16日(水) お別れ会
3月23日(水) 総会準備
いずれも10:00～11:30 山村開発センター

向原掲示板

向原支所市民生活課 ☎ 46-3113

【健康相談】
午前の部 10:00～11:30/午後の部 13:30～15:00
3月2日(水)午前:和楽会健康教室
3日(木)午前:長寿会健康教室(9:00～)
4日(金)午前:明長会健康教室
7日(月)午前:三篠クラブ16区健康教室
午後:有保健康教室
9日(水)午前:百楽会健康教室
午後:和光会健康教室
11日(金)午前:保垣健康教室
14日(月)午前:錦水健康教室
15日(火)午前:明治健康教室
25日(金)午前:さつき・和朗会健康教室

【転倒予防教室】
3月3日(木)・8日(火)・14日(月)・22日(火)
13:30～15:00 向原保健センター

【育児相談】
3月23日(水)受付9:30～11:30 向原保健センター

【犬・猫の引き取り】
3月7日(月)14:50 向原支所